



平成30年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年12月13日

上場会社名 アゼアス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務経理部部長 (氏名) 羽場 恒彦

TEL 03-3865-1311

四半期報告書提出予定日 平成29年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第2四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成29年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第2四半期	4,482	3.7	74	108.4	93	137.2	62	138.2
29年4月期第2四半期	4,322	6.1	35		39		26	58.1

(注) 包括利益 30年4月期第2四半期 65百万円 (%) 29年4月期第2四半期 17百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第2四半期	11.11	
29年4月期第2四半期	4.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第2四半期	7,838	5,149	65.7
29年4月期	7,525	5,140	68.3

(参考) 自己資本 30年4月期第2四半期 5,149百万円 29年4月期 5,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		10.00	10.00
30年4月期		0.00			
30年4月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,312	1.5	200	19.0	212	18.3	128	0.4	22.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期2Q	6,085,401 株	29年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	30年4月期2Q	475,045 株	29年4月期	476,045 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期2Q	5,609,725 株	29年4月期2Q	5,739,837 株

(注) 期末自己株式数には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(30年4月期2Q 131,900株、29年4月期 132,900株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(30年4月期2Q 132,531株、29年4月期2Q 2,468株)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、平成29年12月15日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、好調な企業業績を背景に、引き続き緩やかな回復基調が続きました。世界経済は、米国を中心に先進国では緩やかな回復が続きましたが、海外の地政学リスクなどの景気下押し要因が残存し、中国及び新興国の景気減速の懸念等もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間においては、主力事業であります防護服・環境資機材事業は若干の増収となりましたが、たたみ資材事業、アパレル資材事業においては、前連結会計年度に引続き需要の低迷が続きました。また、前連結会計年度において、低調であった中国子会社の売上については、回復傾向にありました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,482百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は74百万円（前年同四半期比108.4%増）、経常利益は93百万円（前年同四半期比137.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円（前年同四半期比138.2%増）となり増収増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、当社の強みであるタイベック®防護服の市場におけるシェア拡大と新規防護服分野の市場創造に注力してまいりました。この結果、売上高は1,921百万円（前年同四半期比0.9%増）と若干の増収となりましたが、ドラッグストア向けマスクの出足が昨年比に遅かった等の要因があり、セグメント利益（営業利益）は118百万円（前年同四半期比5.1%減）となり減益となりました。

たたみ資材事業におきましては、畳表等の利益率の確保できる商品の販売に注力しましたが、引き続き需要の低迷が続いており、売上高は633百万円（前年同四半期比2.1%減）、セグメント利益（営業利益）は17百万円（前年同四半期比21.0%減）となり減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、分野別に主要取引先への販売強化と高付加価値商品の販売の拡大に注力しましたが、カジュアルウェア分野の取引先の減産の影響が大きく、売上高は1,465百万円（前年同四半期比1.3%減）と減収になったものの、業務効率化により、セグメント利益（営業利益）は87百万円（前年同四半期比5.0%増）と増益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は160百万円であります。

（注）「タイベック®」は、米国デュボン社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し6,009百万円となりました。これは、主として商品及び製品が376百万円増加、その他の流動資産が前渡金や差入保証金の増加等により221百万円増加し、現金及び預金が203百万円減少、受取手形及び売掛金等の売上債権が60百万円減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し1,828百万円となりました。これは、主として減価償却等により有形固定資産が23百万円減少、無形固定資産が7百万円減少したためであります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて313百万円増加し7,838百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19.9%増加し2,334百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が439百万円増加し、その他の流動負債が未払消費税の減少等により50百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18.9%減少し354百万円となりました。これは、主として長期借入金37百万円減少、退職給付に係る負債が年金資産の増加等により30百万円減少、社債が30百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し5,149百万円となりました。これは、主として利益剰余金が4百万円増加、株価の影響等でその他有価証券評価差額金が3百万円増加したためであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて203百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,189百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、59百万円(前年同四半期は220百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、たな卸資産の増加394百万円、前渡金の増加97百万円、法人税等の支払額44百万円であります。収入の主な内訳は、仕入債務の増加466百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、13百万円(前年同四半期は9百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、アゼアスデザインセンター秋田の設備拡充やその他定期的な設備更新等で支出した有形固定資産の取得による支出15百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、135百万円(前年同四半期は151百万円の支出)となりました。支出の内訳は、配当金の支払額57百万円、社債の償還による支出40百万円、長期借入金の返済による支出37百万円であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,752,304	1,549,241
受取手形及び売掛金	2,584,843	2,547,713
電子記録債権	128,683	105,201
商品及び製品	977,670	1,353,749
仕掛品	2,100	2,719
原材料	114,457	132,151
その他	124,520	345,880
貸倒引当金	△19,444	△26,811
流動資産合計	5,665,135	6,009,845
固定資産		
有形固定資産	1,445,786	1,422,565
無形固定資産	111,173	103,322
投資その他の資産		
投資有価証券	142,805	147,073
その他	170,337	163,681
貸倒引当金	△10,055	△7,763
投資その他の資産合計	303,087	302,991
固定資産合計	1,860,047	1,828,880
資産合計	7,525,183	7,838,725
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,206,132	1,645,528
電子記録債務	255,146	282,330
短期借入金	13,700	13,700
1年内償還予定の社債	80,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	75,000
未払法人税等	55,510	26,030
賞与引当金	56,200	66,800
その他	205,555	154,930
流動負債合計	1,947,244	2,334,320
固定負債		
社債	75,000	45,000
長期借入金	112,500	75,000
役員退職慰労引当金	110,500	107,480
役員株式給付引当金	6,448	11,592
退職給付に係る負債	132,825	102,592
その他	-	13,085
固定負債合計	437,274	354,749
負債合計	2,384,518	2,689,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,094,103	1,094,103
利益剰余金	3,338,243	3,343,187
自己株式	△266,865	△266,339
株主資本合計	5,053,126	5,058,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,127	28,259
繰延ヘッジ損益	4,083	5,999
為替換算調整勘定	58,326	56,799
その他の包括利益累計額合計	87,537	91,059
純資産合計	5,140,664	5,149,655
負債純資産合計	7,525,183	7,838,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
売上高	4,322,564	4,482,240
売上原価	3,503,427	3,649,757
売上総利益	819,136	832,482
販売費及び一般管理費	783,463	758,123
営業利益	35,672	74,358
営業外収益		
受取利息	323	308
受取配当金	2,016	1,322
為替差益	1,232	2,889
保険解約返戻金	415	-
助成金収入	330	6,690
その他	1,148	8,316
営業外収益合計	5,465	19,526
営業外費用		
支払利息	1,181	808
保険解約損	701	-
その他	44	51
営業外費用合計	1,927	860
経常利益	39,210	93,024
特別損失		
固定資産売却損	-	145
減損損失	93	107
固定資産除却損	-	0
ゴルフ会員権評価損	452	-
特別損失合計	546	253
税金等調整前四半期純利益	38,664	92,771
法人税、住民税及び事業税	21,587	17,366
法人税等調整額	△9,102	13,038
法人税等合計	12,484	30,405
四半期純利益	26,179	62,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,179	62,366

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益	26,179	62,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,670	3,132
繰延ヘッジ損益	2,745	1,915
為替換算調整勘定	△49,407	△1,526
その他の包括利益合計	△43,990	3,521
四半期包括利益	△17,810	65,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,810	65,888
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	38,664	92,771
減価償却費	42,833	38,150
のれん償却額	1,758	1,758
減損損失	93	107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,563	5,115
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,400	10,600
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,180	△3,020
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,190	5,143
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15,454	△30,103
受取利息及び受取配当金	△2,339	△1,630
為替差損益(△は益)	1,944	△5,551
助成金収入	△330	△6,690
支払利息	1,181	808
固定資産売却損益(△は益)	-	145
ゴルフ会員権評価損	452	-
売上債権の増減額(△は増加)	△282,737	59,645
たな卸資産の増減額(△は増加)	△193,471	△394,551
仕入債務の増減額(△は減少)	243,982	466,292
前渡金の増減額(△は増加)	△27,321	△97,292
未払消費税等の増減額(△は減少)	46,659	△82,688
差入保証金の増減額(△は増加)	△80,000	△90,000
その他	15,610	4,813
小計	△185,139	△26,175
利息及び配当金の受取額	2,396	1,668
利息の支払額	△1,204	△829
法人税等の支払額	△43,669	△44,265
助成金の受取額	330	6,690
補助金の受取額	-	3,588
保険金の受取額	7,110	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	△220,176	△59,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,347	△15,134
無形固定資産の取得による支出	△3,942	-
定期預金の預入による支出	△2	△100,000
定期預金の払戻による収入	-	100,000
保険積立金の積立による支出	△787	△778
保険積立金の解約による収入	2,828	-
その他	△3,276	2,277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,528	△13,635

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△37,500	△37,500
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△17,073	-
配当金の支払額	△57,237	△57,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,810	△135,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,580	5,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△406,096	△203,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,424,648	1,392,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,018,552	1,189,128

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,904,457	647,250	1,484,560	4,036,268	286,295	4,322,564	—	4,322,564
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	978	53	4,035	5,067	47,525	52,592	△52,592	—
計	1,905,435	647,303	1,488,596	4,041,336	333,821	4,375,157	△52,592	4,322,564
セグメント利益 又は損失(△)	124,644	22,090	82,921	229,656	△19,266	210,389	△174,716	35,672

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△1,771千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△172,945千円であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,921,541	633,789	1,465,880	4,021,211	461,028	4,482,240	—	4,482,240
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	776	24	5,943	6,744	56,633	63,378	△63,378	—
計	1,922,318	633,814	1,471,823	4,027,956	517,662	4,545,618	△63,378	4,482,240
セグメント利益	118,230	17,457	87,041	222,729	14,465	237,195	△162,836	74,358

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△1,984千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△160,851千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。